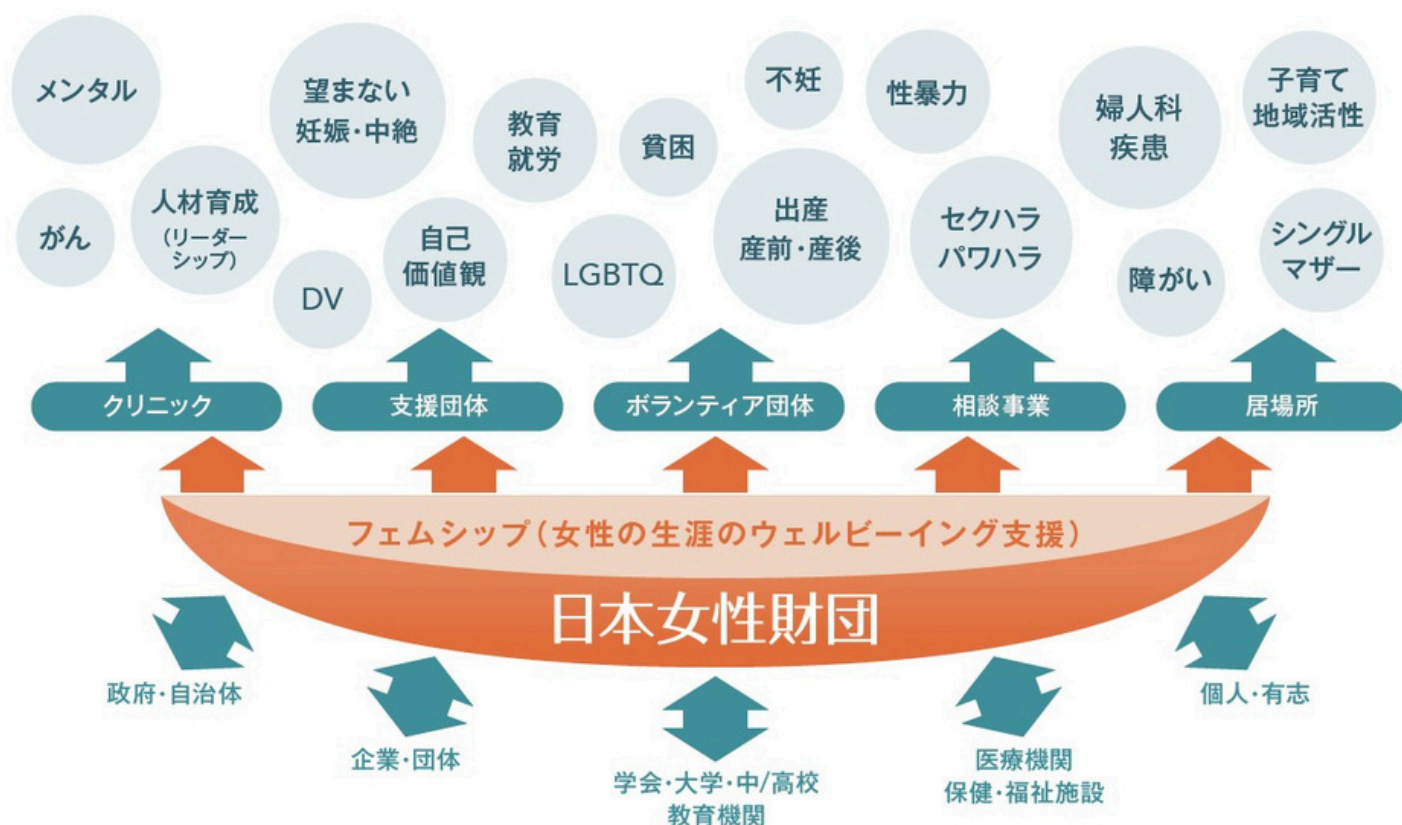


# 活動報告書 2024

一般財団法人 日本女性財団

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団



一般財団法人 日本女性財団

# 目次

p.2 ごあいさつ

p.3 私たちの活動

p.4 I. 女性たちの現状を知る活動

p.6 II. 女性支援を拡げる活動

p.9 III. 情報・データを集め政策提言する活動

p.10 会員登録のご案内

p.11 日本女性財団 これまでの活動

p.15 今後の活動、一般財団法人 日本女性財団概要

## ごあいさつ



### 理事長 対馬ルリ子

プロフィール 産婦人科医

1984年 東京大学医学部産婦人科学教室入局

都立墨東病院周産期センター立ち上げを経て、2002年、ウィミズウェルネス銀座クリニック（女性ライフクリニック銀座）を開院。2003年「女性医療ネットワーク」を設立、全国500名の女性医師・女性医療者と連携して活動。著書に「キレイな（からだ・心・肌）女性ホルモン塾」、「女性外来が変える日本の医療」など。テレビは、NHK「きょうの健康」、テレビ朝日「徹子の部屋」、日本テレビ「世界一受けたい授業」「NEWS ZERO」、などに出演。

本財団は、未曾有のコロナ禍の中で誕生しました。

女性には特有の健康リスクがあります。日本の女性に関するヘルスリテラシーは他の先進国に比べ低いのが現状です。

私たちは、女性の生涯の心身と社会的なウェルビーイングを支援する」というテーマを掲げ、女性の心身の健康 および社会的な活躍を後押しし、新しい日本の社会づくりに貢献してまいります。また、コロナ禍の医療現場では、女性達の困窮した姿が、目に見えて増えてきています。望まない妊娠、中絶、DV、虐待、失業、貧困による栄養失調、月経困難症など、女性たちに大きな負担とリスクが増加しています。

日本女性財団は、包括的に女性の人生を支え、救済して乗せる母船（femship: フェムシップ）をイメージしています。支援を必要としている女性たちを、フェムシップドクターズや支援団体が窓口となって、適切な専門機関、継続的な支援につなぎます。また、すでに女性支援を行なっている団体・組織・個人と連携し、全国各地にプラットフォームを作って横連携する仕組みを作っています。

あなたも femship に乗船し、社会を動かしませんか。



### フェムシップドクター推進本部 本部長 高宮城直子

プロフィール 産婦人科医

佐賀医科大学（現 佐賀大学医学部卒業）卒業（1986年）、同大学産婦人科教室入局、琉球大学医学部産婦人科学教室入局、那覇市立病院産婦人科、糸数病院、アメリカ合衆国コーネル大学医学部生殖医学センター留学（1996年）、ウィメンズクリニック糸数にて体外受精を含む不妊治療を経て Naoko女性クリニック開院（2010年）。Naoko人健康のサロン併設（2017年）

さまざまな年齢の女性達が、身体的・精神的・社会経済的にさまざまな問題を抱えております。

フェムシップドクターズとして、女性達の抱える問題を支援団体・行政などと連携して解決できるように活動しております。

また、全国にフェムシップドクターズを増員すべく、養成講座を開催、配信しております。

医療従事者の更なるご参加及び皆様のご支援を宜しくお願い致します。



Action

## 私たちは、3つのテーマで活動します

### I 女性たちの現状を知る活動

フェムシップドクターや支援団体が、現場で女性たちの救済に取り組みながらその現状について調査、記録しています。

## すべての女性が健康で生きやすく、 活躍できる社会を目指す

### II 女性支援を拡げる活動

すでに女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、全国各地にプラットフォームを構築し、横連携するしくみをつくっています。

### III 情報・データを集め政策提言する活動

女性たちの実態やデータを収集し、政府や自治体をはじめ、社会に具体的な提言を行います。より良い社会システム構築に向けた活動です。

一般財団法人日本女性財団は、女性たちの健康課題に対して、

- I. **現場**で取り組みながらその**現状**について調査し報告します
- II. 各分野や各目的ですでに女性支援を行なっている団体・組織・個人と連携し、全国各地に**プラットフォーム**をつくって**横連携**することによって、**女性支援の質と量**を高めます
- III. 得られた課題の情報やデータを政府や自治体の長に伝え、**女性政策の提言**をします



# I. 女性たちの現状を知る活動



フェムシップドクターや支援団体が、現場で女性たちの救済に取り組みながらその現状について調査、記録しています。

184  
名

## Action 1. フェムシップドクターズを増やす活動

1 道 1 都 2 府 31 県

北海道 2, 青森県 4, 岩手県 14, 秋田県 5, 宮城県 1, 福島県 1,  
栃木県 3, 茨城県 1, 群馬県 2, 埼玉県 2, 千葉県 2, 東京都 58,  
神奈川県 15, 石川県 1, 富山県 4, 福井県 1, 長野県 2, 岐阜県 3,  
静岡県 6, 愛知県 8, 滋賀県 1, 和歌山県 1, 京都府 3, 奈良県 2,  
大阪府 7, 兵庫県 2, 岡山県 12, 広島県 2, 山口県 1, 愛媛県 1,  
福岡県 1, 佐賀県 2, 長崎県 2, 鹿児島県 1, 沖縄県 11

医師 123 名

看護師 13 名

助産師 19 名

薬剤師 9 名

鍼灸師 2 名

公認心理士 8 名

柔道整復師 1 名

※2025年5月現在

## フェムシップドクターズとは

医療の専門的なスキルと経験を持って、困窮する女性たちを親身にサポートする医師または医療関係者たちの総称。  
日本女性財団の趣旨に共感し、女性支援を行うことに賛同した医療従事者です。

1. フェムシップドクター：医師免許を保持し、医師としての活動実績を持つ者。
2. フェムシップナース：看護師免許、保健師免許、助産師免許いずれかまたは複数を保持し、看護師としての活動実績を持つ者。
3. フェムシップエキスパート：歯科医師、薬剤師、理学療法士、その他、国家が資格を定める医療従事者で当該職務にて活動実績を持つ者。

※ 卒後10年未満の医師、フェムシップナース、フェムシップエキスパートはフェムシップドクターズ養成講座の終了を必須とする。

## Action 2. 女性たちが相談しやすい医療施設の窓口を増やす活動

172  
件

すでに活動している医療施設や福祉・支援窓口を登録し紹介します。

女性がどこに相談しても有効につながって解決にたどり着けるよう、地域で顔が見える連携をした相談窓口を増やします。また、キーパーソンたちが動きやすいように、プラットフォーム構築と事務局機能の支援をします。

北海道 2 茨城県 3 石川県 1 愛知県 9 兵庫県 2 長崎県 1  
青森県 4 群馬県 2 富山県 1 滋賀県 1 岡山県 14 鹿児島県 1  
岩手県 8 埼玉県 5 福井県 1 和歌山県 1 広島県 2 沖縄県 10  
秋田県 5 千葉県 2 長野県 2 京都府 2 愛媛県 2  
宮城県 1 東京都 57 岐阜県 3 奈良県 2 福岡県 1  
栃木県 3 神奈川県 19 静岡県 6 大阪府 7 佐賀県 2

※2025年5月現在



# I. 女性たちの現状を知る活動



フェムシップドクターたちの裁量により、通常、**行政対応では必要とされる**さまざまな条件例えば居住地域や身分証明、経済状態の証明を必要とせず速やかに必要な支援に繋げるようにしています。財源は**2022年から2024年は独立行政法人福祉医療機構のモデル事業**、およびクラウドファンディングや寄付などによって調達しています。

1,627  
件

## Action 3. 経済的に困窮する女性への医療支援

### ● 検診

WAM助成事業

360 件

子宮頸がん検診、経膈エコー、乳腺エコー、性感染症検査、血液検査、相談等

### ● 緊急避妊薬

WAM助成事業

152 件

### ● ミレーナ挿入

WAM助成事業

70 件



※2022-2025年5月現在

### ● フェムシップ医療費

中絶費用一部支援（特定寄付金、物品寄付）、性感染症検査（検診事業でカバーできないもの）、性感染症治療、低用量ピル、妊娠検査、各種治療、カウンセリング等

1045 件

※2021-2025年5月現在

## ● 医療支援を実施する各地のフェムシップドクター



日々の診療だけではなく、アウトリーチ活動としての街角保健室に力を入れて活動をしています。

【愛知】咲江レディスクリニック  
院長 丹羽 咲江先生

妊娠SOSや支援施設の紹介、アウトリーチ型活動である街角保健室などでの活動を通じて、DV被害や家出などさまざまな背景を抱え、適切な医療にたどり着けずにいる女性たちと日々向き合っています。日本女性財団の医療助成は、そんな女性たちに寄り添い、心と体の回復を支える大切な支援です。すべての女性が安心して医療を受け、自分らしく生きられる社会をめざして、私たちはこれからも歩みを止めず、活動を続けていきます。



性たちに、生き抜く力  
SRHRの推進と、地域社会との連携を主軸に診療しています。

【京都府】医療法人社団 心鹿会  
海と空クリニック京都駅前  
院長 池田 裕美枝先生

10回妊娠、5回出産されている方の11回目の妊娠、人工妊娠中絶。家族滞在ビザで日本にいる女性がDVで家を追い出された後の妊娠判明。親に虐待を受けた過去がある少女の妊娠、頼れる大人もお金もない。こんな時、日本女性財団からの寄付で中絶が施行でき、手術時のミレーナ挿入ができることがきっかけで、地域の福祉職の皆様とチームを組んでみんなで支援することが可能になっています。包括的性教育も必要です。今現在、切羽詰まった状況にある女性たちを、日本女性財団として支援できることは、本当に意義深いです。



望まない妊娠、どうしてもいい？そんな時、頼ってほしいです。性暴力を受けた、DVに合っている、性感染症が心配、そんな時、力になりたいです。とにかく一人で悩まないで。相談できる場所があることを知ってください。

【東京】医療法人社団 碩和会  
下平レディスクリニック  
院長 中島 由美子先生

望まない妊娠は誰にでも起こりうる問題で、誰でも中絶を選択する権利があります。しかし、経済的困窮により必要な処置を受けることが出来ない人々が存在します。現金も保険もなく頼れる人もなくて、仮に支援団体が相談に乗れても、費用がなくて医療機関につなぐことが出来ていませんでした。しかし、女性財団が医療費の支援を始めたことで、医療機関は少ない負担でこうした人々に必要な医療を提供出来るようになりました。

## II. 女性支援を拡げる活動

すでに女性支援を行なっている団体・組織・コインと連携し、全国各地にプラットフォームを作って横連携する仕組みを作っています。

# 13

地域

### Action 3. 経済的に困窮する女性への医療支援

## 北海道

第1回 北海道プラットフォーム連絡会

FD:産婦人科医 堀本 江美先生

2024年11月20日（水）18:00～19:30 札幌医科大学 D303講義室

参加者人数：41名

「活力あふれる毎日に フランスの女性医療から学ぶ」～思春期・産前産後・更年期 女性の健康を守り活躍し続けるために



## 岩手

第3回 岩手プラットフォーム連絡会

FD: 眼科医 玉木 光子 先生

2025年2月9日（日）10:00～12:00 盛岡劇場 河南公民館  
参加者数：54名

「こんな時女性を守る法律・規制」

## 秋田

第1回 秋田プラットフォーム連絡会

FDS: 看護大学教員 看護師 糸川 紅子先生

登壇: 東京藝術大学先端芸術表現科 准教授 心理療法士 秋田市文化創造館館長 西原 珉氏

2024年11月10日（日）14:00～16:30 秋田市文化創造館

参加者数：15名

「女性の健康、心とからだのつながり、アートについて語る」



## 青森

第1回 青森プラットフォーム連絡会

FD: 産婦人科医 日本女性財団 対馬 ルリ子 理事長

登壇: 産業医 竹林 正樹氏, 評議員 奥田 浩美氏

2025年2月17日（月）14:00～16:00 デーリー東北ホール  
参加者数：17名

「つながる地域、広がる未来 女性の力が社会を動かす in Hachinohe」

## 群馬

第1回群馬プラットフォーム連絡会

FDS: 看護師 落合 香代子（企画：一般社団法人 ママリングス）  
群馬ピアカウンセリング研究会

看護教員 看護師 池田 優子先生

看護教員 看護師 高橋 裕子先生

登壇:産婦人科医 佐藤 雄一先生 / 産婦人科医 嶋田 亜公子先生

参加人数：84名

2025年3月27日（月）14:00～16:00 高崎健康福祉大学

「未来の自分へ送る、自分らしく生きるためのヒント」



## 埼玉

第1回 埼玉プラットフォーム連絡会

FDS: 理学療法士 河合 麻美（企画:NPO法人 ReMind）

登壇:産婦人科医 高橋 幸子先生他

参議員議員 小川 かつみ議員

2025年3月30日（日）13:30～16:00 埼玉県男女共同参画センター With You さいたま

参加者数：現地 78名 アーカイブ 50名 合計 128名

「女性が未来を描ける社会に向けて」



# 東京



## 第3回東京プラットフォーム 連絡会

FD: 産婦人科医 中島 由美子先生  
産婦人科医 星野 裕子先生

参加人数：89名

2024年11月13日（水）17:30～20:30 都民ホール

「女性支援新法」制定により、何が違って何が起きているのか



## 第2回愛知プラットフォーム 連絡会

FD: 産婦人科医 丹羽 咲江先生

看護師 臨床心理士 長江 美代子先生

産婦人科医 伊藤 可奈子先生

産婦人科医 日本女性財団 FD推進本部 高宮城 直子理事

参加人数：50名

2025年3月9日（水）13:30～16:30 中日ホール&カンファレンス「性暴力被害者 DV被害者～多職種連携で行う包括的支援～」

# 愛知

# 岐阜



## 第1回岐阜プラットフォーム 連絡会

FD: 産婦人科医 宮崎 千恵先生

企画. NPO法人 あゆみ出した女性と子どもの会

参加人数：60名

2025年1月25日（土）12:30～14:50 グランヴェール岐阜

「みんなで目指す 余生に安心安全な社会の実現」



# 大阪

## 第1回 大阪プラットフォーム 連絡会

FD: 産婦人科医 日本女性財団 FD推進本部 柴田 綾子 委員  
他

参加人数：50名

2025年3月9日（水）14:00～16:30 ナレッジキャピタル

「大阪の性暴力被害者支援の今後を考える」

# 島根



## 第1回島根プラットフォーム 連絡会

自民党 前衆議院議員 看護師 保健師 日本女性財団評議員 高階 恵美子先生 企画 島根県看護連盟

参加人数：71名

2025年2月22日（土）13:00～15:30 ホテル白鳥

「次代の社会活力を形成する女性健康政策オープンフォーラム 女性の生涯の健康政策の推進」



# 岡山

## 第2回 岡山プラットフォーム 連絡会

FD: 産婦人科医 金重 恵美子先生

参加人数：25名

2024年10月26日（土）14:30～17:00 岡山中央病院

「未来の女性の笑顔をつくるために「知る」「守る」「つながる」支援を目指す」

# 沖縄



## 第2回沖縄プラットフォーム 連絡会

FD: 産婦人科医 日本女性財団 FD推進本部 本部長 高宮城 直子理事  
産婦人科医 深津 真弓先生

衆議院議員 宮崎 政久議員

参加人数：23名

2024年11月3日（土）12:30～14:50 アイムユニバースてだこホール  
多目的室1

「沖縄県の女性支援 更なる充実に向けて」

#femship  
日本女性財団

## Action 4. 法人会員様との共同事業 / 活動



8月20日#femshipの日

衆議院議員会館

【ご出席法人会員様】

ハリウッド（株）様/シミックソリューションズ（株）様/ジェイフロンティア（株）様/（株）サンナチュラズ様/（株）アバデンティ様/（有）アジマ様/白鳥製薬（株）様/ロート製薬（株）様/リボン食品（株）様/（株）Border様



2024年11月18日

院内集会 – 私たちのウェルビーライフ2024を開催

【ご登壇法人会員様】

（有）Juliette様/メディカルサービス（株）/ロート製薬（株）様/リボン食品（株）様



2024年11月19日

理学療法士を迎えて フランスの女性医療から学ぶ

【ご協賛企業様】

（株）BORDER様

【ご登壇講師】

Chloe Gillouard / Marie-Carlyne Calix  
財団理事 関口由紀医師



2025年3月

フェムシップドクターの日  
法人会員様ご出展

【ご出席法人会員様】

サラヤ（株）様/シミックソリューションズ（株）様/日漢方（株）様/クララハート（株）様/（株）Border様

2025年5月

ご協賛セミナー  
フランスの女性医療

【ご協賛企業様】

（株）スマートエコー

【ご登壇講師】

ジャーナリスト ジョフロワ・江美氏



## Action 5. フェムシップドクター養成事業



2025年1月26日

フェムシップドクター養成講座

【プログラム】

1. 日本女性財団とフェムシップドクターズの活動

2. 妊産婦メンタルケア

3. 性暴力対応看護師（SANE）の輪を地域へ広めていくには

4. HPVワクチンと子宮頸がん

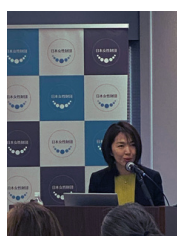
5. 日本版DBSの現状と課題

6. 新時代のABORTION CARE

7. 妊娠葛藤・困難な状況にある女性を支援する現場から

8. 沖縄でのユースクリニックの立ち上げ

9. 岡山 ウィメンズメディカルセンター



医師向  
テキスト無



非医師向  
テキスト無



## Action 6. フェムシップハウス事業

第1号：青森県八戸市 白金ハウス（シェアハウス、民泊、レンタルルーム）2022年

第2号：埼玉県さいたま市 ヒューマンブーケ（居場所、デイサービス）2023年～2025年3月末（活動形態変更）

第3号：静岡県富士市 れんげそう（自立支援ホーム）2024年



白銀ハウス



Human Bouquet



れんげそう



# III.情報・データを集め政策提言する活動

## Action 7. 政策提言、陳情、議員会館集会、院内勉強会



8月20日  
#femshipの日  
活動報告会  
衆議院議員会館

財団評議員  
前衆議院議員  
高階恵美子先生に  
厚く御礼申し上げます。

【話題提供】高階評議員

「次代の社会活力を形成する女性健康政策推進について」

※資料はこちら



11月18日  
院内集会 – 私たちのウェ  
ルビライフ2024を開催

ご協力いただきました  
衆議院議員 野田聖子先生に  
厚く御礼申し上げます。

■ 提言 理事長 対馬 ルリ子

「若い女性たちに生き抜く力を！」

1. 各地にユースクリニックを
2. ライフステージに応じた健康教育を、学校、地域、職域に
3. 自立と活躍のための環境整備を

今後、財団では

- ・ユースクリニックの拡大
- ・ライフステージに合わせた健康教育
- ・女性が健やかに活躍し続けるための女性医療支援、  
制度整備について、政策提言を進めていく予定にしております。



訪問 自民党 野田聖子 衆議院議員



訪問 公明党 竹谷とし子 参議院議員

## Action 8. 関連団体・組織・企業との共同事業、受賞など

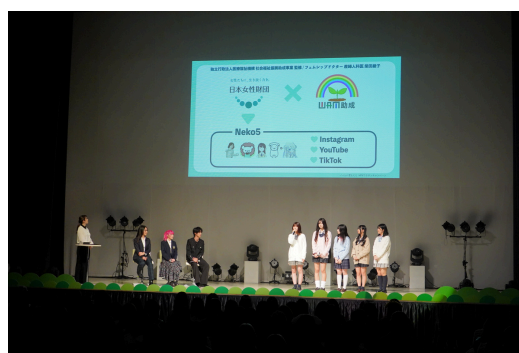


【FIT チャリティ・ラン寄付先団体として採択】  
金融関係の企業の社員が横断的に企画・運営するイベント

である『第20回 FIT チャリティ・ラン』の寄付先として採択を受けました。

ご寄付いただきました560万円余は、フランスの女性医療施策をモデルとする無償医療支援活動に活用させていただいております。

※ FITは「Financial Industry in Tokyo」の略。



【財団ユースグループ Neko5 が「子宮頸がん予防 Hello Smile in Sanrio Puroland 2024」に登壇】

11月30日サンリオピューロランドにて、Hello Smile in Sanrio Puroland 2024に、「一緒に考えよう！ HPVワクチンキャンペーン」を合言葉に2024年夏から秋にかけて、動画コンテンツの発信で子宮頸がん予防啓発に取り組んだ高校生5名が登壇しました。また、会場内では、相談ブースを設置し、フェムシップドクターで産婦人科医の丸山真理子医師が相談ブースの設置に協力しました。

# 会員登録のご案内

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団

個人会員

法人会員

## 月 1,000円からのサブスクリプション

### 会員募集

女性たちに、生き抜く力を。



**活動に参加・応援を 月1,000円から**

- 各世代が抱える健康課題を解決するための医療支援
- 生き抜く力を支えるため相談しやすい場所を増やす
- 健康と活躍の知識を身に着ける教育
- 社会の声を集め提言する

**ご協力をお願いします**

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 ファーストスクエア 4F  
TEL:03-5219-1513  
info@japan-women-foundation.org https://japan-women-foundation.org/

何か私にできることはないかしら？と思ったら、ぜひ個人会員になってください。

月 1,000円で1年続けていただくと、一人の女性に、健康相談か検診を支援することが出来ます。

継続会員



都度寄付



36  
名



個人会員

法人会員

## 1年自動更新 500,000円から

日本女性財団は、女性を応援する企業を募集しています。

ご協賛内容	スペシャル パートナー (300万円)	トップ パートナー (100万円)	メイン パートナー (50万円)
1. 共同事業・研究パートナー（※1）	●		
2. 財団公式Webサイトに貴社商品を財団推奨商品として掲載	●		
3. 貴社の商品に財団のロゴマーク使用可（※2）	●	●	
4. 貴社のWebサイトに財団ロゴ及びバナー使用可	●	●	●
5. 財団公式Webサイトに貴社バナー掲載	●	●	●
6. 財団公式Webサイトに貴社ロゴ及び貴社名掲載	●	●	●

（※1）パートナー企業様と当財団での共同事業や研究、リサーチなど。※ 内容は競技の上決定させていただきます。

事例）商品開発、OEM、サービスの監修コメント。一般向けセミナーの共催、後援等貴社Webサイト用に財団ロゴをご提供。共同事業や協賛について掲載できます。財団Webサイトにパートナー企業である旨明記し、リンクやQRを掲載。

（※2）パートナー企業様のお取り扱い商品を、財団推奨商品としてWebサイトに掲載させていただき、商品の販売促進へ繋げることができます。

※ 法人会ご入会にあたっては、当財団の目的に合致しているか簡単な審査をさせていただきます。

※ 金額は年会費です。

20  
社



# 日本女性財団      これまでの活動

## 第1期

2020年コロナ禍ロックダウンの中、UNWomenが「女性と女兒に対する暴力：陰のパンデミック」に対する声明を発表。

2020年8月7日 ● 一般財団法人日本女性財団 創設  
創設者対馬ルリ子、浅野邦子（故）、内田容子、吉川千明

2020年8月28日 ● 日本女性財団設立 Kick Off イベント  
女性たちの現状を知る活動として「学んでみよう、女性たちのこと。～女性支援者から聞く、課題と現実」を9回にわたり開催、452名が参加。

2021年3月4日 ● フェムシップドクター 結成  
女性医療ネットワーク理事長であった対馬ルリ子の声掛けによって、全国から15名の女性医師が集結した。

## 第2期

2021年7月8日 ● READYFOR クラウドファンディングに挑戦  
「独りで悩まないで。全国の女性医師たち15名と、苦しむ女性を教いたい」  
支援総額 6,343,000円

2021年8月25日 ● 「人と地球に優しい政治を求めて～私たちのウェルビライフ～」イベント開催  
主催：日本女性財団、国会議員有志  
共催：ウィメンズヘルスアクション実行委員会、超党派女性医療職エンパワメント推進議連  
厚生労働省、スポーツ庁、経済産業省、内閣府  
高階恵美子氏、上川陽子氏、野田聖子氏、自見はなこ氏

2022年3月5日 ● ガールスカウト日本連盟 オンラインイベント開催  
「私たちがいま、未来に向けてできることを一緒に考えていく」  
ガールスカウト日本連盟「ジェンダー」に関する女子高校生調査報告書 2021  
「女子高校生の声 自分のからだ」発表 調査項目作成協力

2022年4月30日～5月31日 ● 妊娠中出産後の母体の身体トラブル実態調査  
「#1万人ママの声を聞かせて」アンケートを実施。協力：NPO法人 ReMind

## 第3期

2022年7月19日 ● 独立行政法人福祉医療機構「令和4年WAM助成（社会福祉振興助成事業）モデル事業」開始  
「困窮する女性たちを救済するフェムシップドクターのインフラ構築」  
社会的な健康課題を抱える女性のための「検診ギフト」事業開始通年

2022年7月23日 ● 「クオータ制を学ぶ～女性が生きやすい社会を実現するために～」講演会  
(オンライン開催)

2022年8月19日 ● READYFOR クラウドファンディング開始  
＜第二弾＞苦しむ女性たちを救う活動を全国各地に広げたい  
支援総額3,208,000円。ヘルスリテラシー向上のための講師紹介動画公開



# 日本女性財団 これまでの活動

## 第3期

- 2022年8月20日 ● 日本女性財団 設立記念日イベント  
「8月20日は #femshipの日～あなたが誰かの船になる日～」リアル＆オンライン活動報告会 - WAM助成事業発表会を開催
- 2022年 9月 8日 ● 自民党政務調査会「人生100年時代戦略本部 女性の生涯の健康に関する小委員会」にて、「1万人ママアンケート（妊娠中・出産後の体の身体トラブル実態調査）」について発表
- 2022年10月22日 ● 第1回「SDGS JAPAN SCHOLARSHIP 岩佐賞」医療の部団体を受賞  
主催：公益財団法人 岩佐教育文化財団
- 2022年11月22日 ● 地域プラットフォーム第1弾  
第1回「岩手プラットフォーム連絡会」を岩手県花巻市で開催
- 2022年12月7日 ● 「東京リアルプラットフォーム連絡会」事前意見交換会を東京都新宿区で開催
- 2023年 1月11日 ● 第1回「東京プラットフォーム連絡会」を東京都渋谷区で開催
- 2023年 2月 5日 ● 地域住民に地域医療・地域連携を周知するイベント  
「フェムシップドクターの日」東京都江東区でリアル＆オンライン開催
- 2023年 3月 8日 ● 日本女性財団の連携施設、  
第1号のシェアハウス「白銀ハウス」（一時保護施設）を開設
- 2023年 3月25日 ● 「第6回日本産前産後ケア・子育て支援学会」主幹
- 2023年 5月15日 ● 自由民主党本部開催の委員会にて「ライフコースアプローチに着目した健康支援策」について代表理事対馬ルリ子が発表

## 第4期

- 2023年6月12日 ● 「妊産婦を孤立させないで！家庭用エコーを使った妊産婦の不安解消、うつ予防に関するアンケート」調査結果を株式会社Border（本社：東京都港区、代表取締役 役：高多直晴）と共同リリース
- 2023年8月20日 ● 日本女性財団 設立記念日イベント 「フェムシップの日」  
リアル＆オンライン活動報告会 - WAM助成事業発表会を開催
- 2023年9月18日 ● 第1回「秋田リアルプラットフォーム連絡会」を秋田県秋田市で開催
- 2023年10月22日 ● 第1回「岡山リアルプラットフォーム連絡会」を岡山県岡山市で開催
- 2023年11月22日 ● 第1回「沖縄リアルプラットフォーム連絡会」を沖縄県那覇市で開催
- 2024年1月13日 ● 上野千鶴子氏「女の子の育て方、ついでに男の子の育て方」講演会＆交流会
- 2024年1月14日 ● 第1回「フェムシップドクターズ養成講座」を東京都千代田区で開催
- 2024年2月13日 ● 第3回「岩手リアルプラットフォーム連絡会」を岩手県盛岡市で開催

# 日本女性財団 これまでの活動

## 第4期

- 2024年2月21日 ● 第2回「東京リアルプラットフォーム連絡会 in 杉並」を東京都杉並区で開催
- 2024年3月 3日 ● 第2回「フェムシッパドクターの日」を東京都江東区で開催
- 2024年3月 7日 ● 第1回「中部リアルプラットフォーム連絡会」を愛知県名古屋市で開催

## 第5期

- 2024年5月 7日 ● 自由民主党政務調査会「女性の生涯の健康に関するPT」会議に参加
- 2024年5月 29日 ● 「次代の社会活力を形成する女性健康政策の推進について」自由民主党政務調査会「女性の生涯の健康に関するPT」が提言
- 2024年8月 2日 ● 「第3弾 女性支援の包括的制度化まであと少し！」クラウドファンディングを公開
- 2024年8月 5日 ● 2024年8月2日 第3弾クラウドファンディング記者発表会を実施
- 2024年8月 19日 ● 「HPVワクチンのキャッチアップ接種」に関連しSNSを利用した「HPVワクチンキャンペーン」を展開
- 2024年8月 20日 ● 活動報告会を衆議院第二議員会館第三会議室(東京都千代田区)にて開催
- 2024年10月 1日 ● 「第3弾 女性支援の包括的制度化まであと少し！」READYFORクラウドファンディングは目標額300万円を達成
- 2024年10月11日 ● 「国際ガールズ・デー」の本日、当財団が後援する「Women's Health Action」の配信開始
- 2024年10月15日 ● 「第2回フェムシッパドクターズ養成講座」の受講申し込み開始
- 2024年10月26日 ● 「第2回 岡山リアルプラットフォーム連絡会」を岡山中央病院 東館3階 会議室（岡山市）にて開催
- 2024年11月 4日 ● 「第2回 沖縄リアルプラットフォーム連絡会」を浦添市てだこホール（沖縄県浦添市）にて開催
- 2024年11月10日 ● 「第2回 秋田リアルプラットフォーム連絡会」を秋田市文化創造館（秋田県秋田市）にて開催
- 2024年11月13日 ● 「第3回 東京リアルプラットフォーム連絡会」を東京都庁都民ホール（東京都新宿区）にて開催
- 2024年11月18日 ● 「第3回 東京リアルプラットフォーム連絡会」を東京都庁都民ホール（東京都新宿区）にて開催
- 2024年11月19日 ● 「フランスの女性医療から学ぶ」と題し、女性の骨盤底ケアに関する日仏のスペシャリストによる講演会を開催
- 2024年11月20日 ● 第1回北海道リアルプラットフォーム連絡会を札幌医科大学内 D303 講義室にて開催

## 日本女性財団      これまでの活動

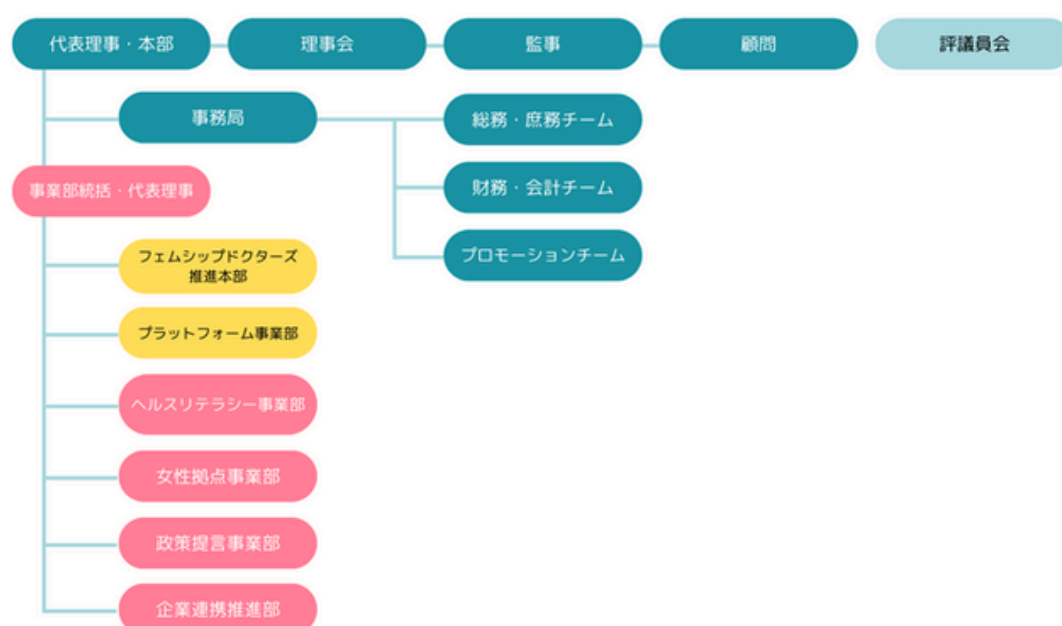
- 2024年11月20日 ● 「Hello smile in Sanrio Puroland 2024」(主催：TOKYO FM/ハロースマイル実行委員会)にフェムシップドクターズと財団ユースチームが登壇
- 2024年12月 1日 ● 「フランスの女性医療から学ぶ」 オンデマンド配信期間限定で開始
- 2024年 1月 14日 ● 「フェムシップドクターズ」の活動が、中日新聞・東京新聞に掲載
- 2025年 1月 29日 ● 「フランスの女性医療から学ぶ」(2024年11月19日開催)について宝島社の「FASHIONBOX」に紹介
- 2025年 2月 9日 ● 「第4回 岩手リアルプラットフォーム連絡会」を盛岡劇場 河南公民館(岩手県盛岡市)にて開催
- 2025年 3月 8日 ● 「国際女性デー チャリティーイベント」を六本木ヒルズ ハリウッドビューティプラザ 4F(東京都港区)にて開催
- 2025年 3月 24日 ● 「第1回 群馬リアルプラットフォーム連絡会」を高崎健康福祉大学6号館103教室(群馬県高崎市)にて開催
- 2025年 4月 3日 ● NHK「ニュースーン」で、フェムシップドクターズについて放送
- 2025年 4月 24日 ● 「第2回フェムシップドクター養成講座」 オンデマンド配信開始
- 2025年 5月 28日 ● フランスの女性医療セミナーを東京都千代田区で開催



## 第6期 今後の予定

- 2025年 8月20日 ● 初 女性支援・Well-being AWARD 2025
- 2025年 9月 4日 ● 地域プラットフォーム連絡会：  
岩手県、青森県、秋田県、群馬県、埼玉県、東京都、沖縄県
- 2025年11月18日 ● 参議院議員会館 活動報告会（予定）
- 2026年 3月8日 ● チャリティガラパーティ

## 組織



名称	一般財団法人 日本女性財団
所在地	東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア イーストタワー4階
設立日	2020年8月20日
理事長	対馬ルリ子
理事	内田容子、森田敦子、北條裕子、稲田龍介、上野千鶴子、関口由紀、高宮城直子、笹尾敬子、佐々木恵美子、落合香代子
監事	池上清子 公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン理事長 大須賀穰 帝京大学臨床研究センター 教授、センター長 東京大学 名誉教授、 帝京大学医学部産婦人科学講座 特任教授
評議員	奥田浩美 (株)ウィズグループ 代表取締役 小巻亜矢 (株)サンリオエンターテインメント代表取締役社長 高階恵美子 前衆議院議員 田瀬和夫 SDG/パートナーズ (有) 代表取締役CEO 吉村泰典 慶應義塾大学名誉教授

Tel. 03-5219-1513 Mail: [info@japan-women-foundation.org](mailto:info@japan-women-foundation.org) <https://japan-women-foundation.org>

いつも応援、ご支援をいただきありがとうございます

女性を応援する人を募集しています！

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団



〒100-0004

東京都千代田区大手町1-5-1

大手町ファーストスクエア イーストタワー4階

TEL：03-5219-1513

Mail：[office@japan-women-foundation.org](mailto:office@japan-women-foundation.org)

**一般財団法人 日本女性財団**